

高齢者介護施設でエコ・クイーンの効果についてお聞きしました。

東京都府中市にある高齢者介護施設「グループホームこもれび家族」では、全室に エコ・クイーン内壁材 を施工していただいています。グループホームを運営されている(株)佐藤総研 代表取締役 佐藤弘様と、こもれび家族副ホーム長 澤田久美子様 に エコ・クイーン の効果について、お話を伺いました。



省エネ効果について
「府中市にあるグループホームは、工務店に建築を依頼した木造軸組2階建ての建物です。階段も廊下も室内も、内装材はすべて無垢の木を使用し、天井・壁は、トイレや洗濯室も含めて全室に エコ・クイーン内壁材NSR を施工しています。入所者数18名、スタッフは1階と2階にそれぞれ4名ずつ常駐しています。

(株)佐藤総研 代表取締役 佐藤弘様 介護の仕事をする前は、IT業界でトップを走ってこられた方。



ITの仕事は、喜びがすぐに反応して返ってこない。介護では違う。それで過去をすべて捨てました。

こもれび家族 副ホーム長 管理者 澤田久美子様

東京小平市と国分寺市にも同規模のグループホームを運営していますが、その2棟は大手ハウスメーカー製の建物です。内装材は、一般的な化粧合板とビニールクロスです。私はこの2タイプの建物の光熱費を1年間記録し、比較してみました。結果は、エコ・クイーン を施工したホームの方が、光熱費が3割も安かった。延べ床面積、室数は同条件です。」

消臭効果について
「高齢者介護施設は、どこもニオイという問題を抱えています。要因は、加齢臭や排泄物等といわれています。ですから消臭剤メーカーの営業マンが必ずやってきます。うちにも来ましたが、中に一歩入ったとたん、ニオイがしないことに驚いて、『ここには必要ないですね』と帰って行かれました。エコ・クイーン を施工したホームでは、ほとんどニオイの問題が発生していません。」

健康改善に関する効果について
「不思議な出来事がありました。生まれてからずっとアトピーに苦しんでおられたという92歳の女性が入所されたのですが、入所後、半年で肌がツルツルになったのです。アトピー症がすっかり良くなり、大変喜ばれました。92年もの間、アトピーに苦しんでいた方が、入所して半年で症状が治まったのですから、ドクターをはじめ私たちも驚くよりほかにありませんでした。」

調湿作用について
「梅雨時分でもジメジメ感はありません。廊下の手すりに洗濯したタオルを並べて干すことがあるのですが、エコ・クイーン を施工したこのホームでは2時間ほどで乾きます。一方、小平市と国分寺市のホームでは、6時間経っても乾きません。調湿力のある建物と、まったく調湿力のないビニールクロスと新建材でできた建物との差がはっきりとわかります。」



グループホーム こもれび家族
東京都府中市是政2-19-1
H18年9月開設 入所者18名

佐藤様、澤田様、ご多忙中、詳しくお話を聞かせていただきありがとうございました。

「このホームに暮らせて幸せだな」と感じていただくにはどうしたらよいか、と常に入所される方の立場に立ったホーム運営をされている姿勢がとても印象的でした。

エコ・クイーン が、介護の分野でもお役に立てていることに、社員一同喜びを感じるとともに、もっと多くの方に エコ・クイーン の効果を感じていただきたいと改めて思いました。

DIY失敗談から学ぼう

その2 「手始めにトイレからー」は苦労します



壁塗りDIYに初めて取り組む方は、「まずは、施工面積が少なく、人目につきにくい所

から塗ろう」と考えがちです。そして選んでしまうのが『トイレ』。しかし、いざやってみると、施工の大変さに気づきます。トイレは狭く、おまけに 便器という邪魔者がどんと部屋のまん中に居座っています。便器にはおずりしない作業できない箇所もあります。そのため、塗り終えたばかりの壁を、持っていたコテ板で傷つけてしまったり、背中が触れ

てしまったり……。あちこちに補修跡が目立つ不満な結果となり、ガックリと首をうなだれることになります。初めて施工する場所はトイレを避けて、もっと広い壁面を選ぶのが無難です。ちなみに、「トイレが一番上手な人が塗るもの」と、プロはいいです。なぜなら、トイレは他の部屋と違い、じっと壁を見つめられる場所だからです。

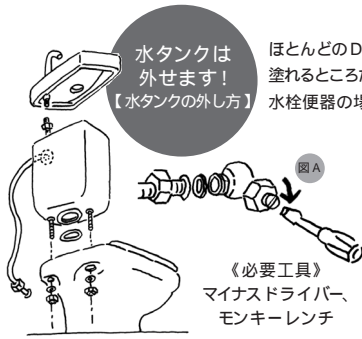
こうすればうまくいく【トイレ仕上げ塗り手順】

天井を上げる。
天井の周囲に回り縁がない場合は、天井を上げた後、完全に乾いてから周囲をマスキングする。

壁面は対面する2面を仕上げる。
仕上げた2面がしっかり乾燥するまで待つ。

で仕上げた壁の両側(入隅部分)をマスキングし、残りの2面を仕上げる。

以上、落ち着いて作業しましょう。



ほとんどのDIYチャレンジャーの方は、水タンクを外さずに、塗れるところだけ塗るという形で作業していますが、一般的な水栓便器の場合は水タンクを取り外すことは可能です。

トイレ内にある止水弁を閉める(図A) 水タンク内の水を抜く(トイレ使用後に水を流す時のレバーを操作) 水タンクの蓋を持ち上げ、その隙間から手を入れて、中の給水管を外してから、蓋を外す。水タンクと便器を固定しているナットを外す。水タンクを持ち上げて取り外す。元に戻す時は、この逆の手順です。

